

3年	漢字の成り立ちを学ぼう
国語	

年 組 番 名前

☆左の田に学習した漢字を大きく、はっきりと、書き順を正しく書こう。
 ☆長細い□の中に、その漢字の音読みと訓読み(送り仮名も)を全部書こう。

--	--	--	--	--	--	--	--

☆記事の中から上の漢字をみつけ、その記事をはり付けよう。つぎに、その漢字が使われている部分に赤鉛筆で○を付けよう。

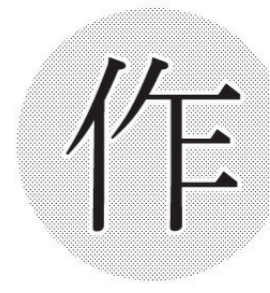
コピーを児童に渡す際、下記の指導アドバイスの部分は消してからコピーしてください。

※指導する先生や保護者の皆様へ
 教科書に出てくる漢字の学習が基本となります。漢字の音読みと訓読みは同時におぼえた方が効果的です。また、実際にどのような場面でどれくらいの頻度で漢字が使われているのか、実感させる目的で新聞を利用しましょう。



小学校で図画工作の時間がありますし、文章を書く作文の時間もあると思います。前に「図」や「画」の字の意味について紹介しましたので、今回は「工」作「作文」の「作」について説明したいと思えます。

右の「作」は木の小枝を強く曲げて垣根などを作ることです。「イ」を加えた「作」は人力を加え、元の形を変えること。「作」の



元の字が「作」で、後に人間の「作為」の意味の字として「作」が作られたので「作」が作られたので

果汁を搾る、税金を搾り取る「搾」にも「作」の

人力加え、形を変える

字がふくまれています。木の小枝をたわめる「作」に「穴」を加えた「窄」は、狭いところに追いつまれ、せまくなるといふ文字です。

これに「才」を加えた搾は狭いところに追いつんで、その状態にして、手で取り出すこと、しぼりだすことです。ですから果汁を

搾り出すことや税金を搾り取る意味に使われるので「詐」は祈りや約束事を曲げて変更し「あざむく」ことです。

「詐欺」と言います。また仮病のことを「詐病」と言います。この「詐欺」「詐病」の「詐」にも「作」があります。

「作」は小枝を強く曲げ

て元の形を變形すること。その「作」に「言」を加えた「詐」は祈りや約束事を曲げて変更し「あざむく」ことです。

最後に「昨日」の「昨」について説明しましょう。「作」は「昔」と音が似ているので、しばしば交換して使われます。「昨日」は「昔の日」で「きのう」の

「酢」と「醋」です。これらは同じ字として使われます。米などの穀類や果物を酢酸発酵させて作る「酢」の意味です。でも「西」に「昔」を加えた「醋」のほうが、時間が長くかかっているような感じがありませんね。「酢」「醋」は、もとはお酒の席での返杯のことです。「むねる」の意味があります。

古代文字

文章や詩歌をあれこれ工夫して作ることを「ひねる」という。人の力を加えて元の形を變形することが「作」であることを知ると納得(なっとく)できる

古代文字なし

イラスト・はまむらゆう